

● 実証プロジェクト名

ARコンテンツ賑わい創出プロジェクト（いなごや寺町エリア）

● 実証事業者

株式会社palan（<https://palan.co.jp/>）
本社所在地：東京都渋谷区



● 実証実施フィールド

- ・【名称】なごや寺町エリア
- ・【代表事業者】なごや寺町まちづくり協議会
- ・【概要】東別院～西別院エリアが対象。神社仏閣や仏具店が連なる門前町商店街や名古屋城の城下町入口であった橋町大木戸跡があり、屋外マーケット等も定期開催している。

● 実証に使用するソリューション

提供プロダクト/サービス内容

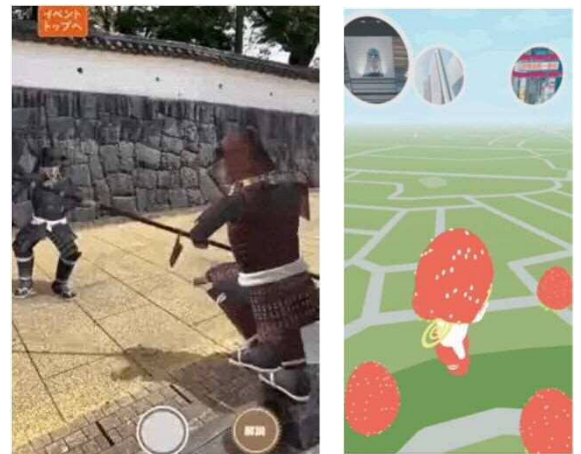
- ・地域の魅力を高めるARコンテンツをデジタルマップ上に配置し、AR上で歴史上の建築物やデジタルアートなど、「その場所に行くことでしか体験できない」コンテンツを提供するAR観光サービス「AR Maps」を提供する。
- ・「アプリ不要なWebARの為、観光客が手軽に体験することが可能」、「AR作成サービス palanAR を利用し、製作コストを削減」等差別化を図っている。

*AR = Augmented Reality（拡張現実）



● 実証内容

- ・当エリアの歴史的な要素やキャラクターを用いた観光周遊機能（ゲーム性のある冒険機能）を有するARコンテンツを作成する。
- ・上記コンテンツの導入より、賑わいや継続利用を創出できるかを検証する。
- ・また、11月に行われるイベントにおいて、有料のAR体験スポットも用意し、体験率等からどのようなコンテンツであればユーザーの購入意欲を喚起できるかを検証する。



● 実証後の事業展開

- ・本実証で検証されるソリューション導入による集客効果を基に、当地域をはじめとする国内での観光・お出かけサービスとしての定着を目指す。
- ・企業や自治体だけでなく、ユーザーからのマネタイズにも取り組むことで、持続可能なビジネスモデルの構築を目指す。
- ・また本実証結果を海外における展示会にて展示等を行うことで欧米を中心とした販路拡大も目指す。

ビジネスモデル仮説

